

平成13年度授業実践

学校名：伊自良村立伊自良中学校

授業者等	授業日	平成14年3月15日	学年	生徒会
	授業者	大塚 政明	教科等	特別活動
	校種	中学校	題材	14年度交流学习の計画
	ねらい	テレビ会議システムを利用して、岐阜希望が丘養護学校との来年度の交流計画を話し合うことができる。特に今回は、生徒同士の友好を深めることをねらいとする。		
授業の流れ	<p>1. 岐阜希望が丘養護学校と回線を接続する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【課題】 テレビ会議システムを利用し、14年度の交流内容を話し合おう。</p> </div> <p>2. 教師同士が、TV会議システムを利用した会話をしている様子を生徒たちが見ることで、電話のように利用できることを理解する。</p> <p>3. お互いに自己紹介をする。 * 希望が丘養護学校の生徒が先生の援助を受けながら、自己紹介をする。 * 自分の名前の他に今がんばっていること、これから交流していきたい気持ちを伝える。</p> <p>4. 計画について質問を始める。 * 質問については、以前に交流した体験をもとにして話をする。 < 交わした会話の記録 > 『伊自良巡りがあるのですが、どんなところに行きたいですか。』 『花のあるところ』 『学校の中、教室を見たいです』 『希望が丘に訪問するのですが、どんなことをして遊びますか』 『エアートランポリン』 『2年生が来年もお世話になると思うので、よろしく願いします。』 『伊自良青少年自然の家に来たとき、どんなプレゼントがいいですか。』 『くわがた』 『おはな』 『12月のクリスマス交流会では、どんなゲームがしたいですか。』 次の交流では、写真やビデオを使って交流することを約束する。</p> <p>5. お礼の言葉 6. お互いあいさつをして終了</p>			
考察	<p>システムを利用する際に、座る場所、机の位置、フリップの用意など場を設定する方が生徒は話しやすいことがわかった。生徒がまとまって床に座っていても、話す間合いと順序がわかりにくいので、場の設定は必要だと思った。</p> <p>会の終了時に、「次回はこんなことがしたいですね。」という会話をすることで、生徒たちは、「こんなことも話していいの?」と意欲をもつことができた。</p> <p>場の設定に関しては、十分配慮したが送信する画面が暗く見にくいものになっていたことは残念でした。照明の当て方に工夫が必要ですが、うまく準備することができないので、良い方法があれば教えて頂きたい。</p> <p>次回、ビデオを送信したいと思うのですが、どのように結線して送信したらよいかわからないので、教えて頂きたいと思います。</p>			